

第 28 回酪農諮問委員会 実施概要

1. 開催日時 2024 年 10 月 29 日 (火) 14:00~17:00

2. 会 場 雪印メグミルク (株) 本社会議室

3. 出席者

諮問委員 坂井 正喜 (元大樹町農業協同組合 代表理事組合長)

相馬 義樹 (元全国酪農青年女性会議 監事)

伊藤 強 (元東北生乳販売農業協同組合連合会 代表理事専務)

鈴木 宣弘 (東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授)

矢坂 雅充 (公益財団法人日本農業研究所 研究員)

清水池義治 (北海道大学大学院農学研究院食料農業市場学研究室 准教授)

当 社 佐藤雅俊代表取締役社長、石井智実代表取締役副社長、戸高聖樹代表取締役副社長、戸邊誠司常務執行役員、若林偉彦執行役員、事務局(酪農総合研究所)

4. 開催内容

今年度の諮問テーマは「日本の酪農乳業の目指すべき方向性」とし、6名の諮問委員の皆様からご意見を伺いました。

今回は、酪農生産者委員から現在、酪農現場で顕在化している課題を挙げて頂き「酪農家戸数減少と労働力不足」、「自給飼料生産の拡大」、「国の酪農政策」の3点に集約し、それを踏まえて学識者委員を中心に、他の出席者も含めて議論を深めました。出席者は放牧酪農の再評価、総合的酪農支援事業体や消費者にとって適正な価格の維持も見据えた酪農生産者に対する所得補償等の公的支援の必要性、そして長期的ビジョンに基づく自給飼料生産補助や明確な生産目標等の指標の必要性等その他について議論しました。

各委員の貴重なご意見とご助言により、酪農乳業を取り巻く環境が大きく変化する中、共に成長していくためには酪農生産基盤を維持していく必要があります、根本的に仕組みを変えていくべき時が来ている、と認識しました。



以上